



旭温泉

人から人へと伝えられてきた
湯治に最適な「湯の地」。

山あいの一軒宿として、秘湯の雰囲気漂わせる旭温泉。日本海オロロンラインの留萌と稚内の中間地点に位置する遠別町旭の国道232号沿いに「旭温泉」の看板があり、そこから6kmほど東の山間部に、木造2階建ての建物がひっそりとたたずんでいます。建物の外観には地元産出のトドマツ材を使用、えび茶色のトタン屋根も印象的です。

旭温泉は、昭和47年(1972年)に北海道立地下資源調査所が発掘調査した結果、地下約301mのところから天然ガスと温泉(25度~34度)が噴出して開業しました。道北では珍しい間欠泉で、温泉水から分離して得た天然ガスで浴用泉を加熱しているユニークな温泉です。浴場棟は平成17年にリニューアルし、古びた外観とは対照的に清潔感あふれる近代的な造りとなっています。浴場は和風風呂と洋風風呂に分かれていて、日替わりで男湯と女湯に入れ替わりとなっています。両浴場にサウナと露天風呂があり、山間の自然を満喫しながら温泉を楽しむことができます。

浴室にはオレンジ色をした鉄泉の旭の湯と、黒褐色の富士見の湯の、泉質の異なる2種類の浴槽があり、旭の湯はナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉(低張性中性高温泉)で、富士見の湯はナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉(低張性アルカリ性高温泉)となっており、さまざまな効能があることでも知られています。

宿泊施設もあり、湯治にも最適です。食事は、地元産の旬の食材を使った料理が提供されます。四季折々の表情で心を和ませられる周囲の自然も魅力です。

見どころ

旭温泉周辺は自然の宝庫。春には、雪解けと同時にフキノトウやミズバショウが芽をふき、5月には桜、6月には国道沿いの海岸線にエゾカンゾウやヒョウギアヤメが咲きます。秋には、ヤマブドウやコクワの実がなり、紅葉が見られるなど、四季折々の表情で訪れる人の目を楽しませてくれます。

ポイント

道北では珍しい間欠泉で、温泉水から分離して得た天然ガスで浴用泉を加熱しています。オレンジ色をした鉄泉の旭の湯と、黒褐色の富士見の湯があります。それぞれ、多彩な効能があり、効能を確認しながら湯船のはしがが楽しめます。

五感で感じる！風土資産の魅力

聴 触 味 嗅 知

触
わる

泉質の効能は実に多彩で、地元住民はもとより、管内外から多くの人々が訪れます。

味
わう

食事は地元産の旬の食材をたっぷり使った料理を堪能できます。

嗅
ぐ

自然あふれる環境で自然の息吹を感じながらリラックスできる温泉。山間の小さな湯宿ならではの魅力にあふれています。

■基本情報 (R7.3)

住 所：天塩郡遠別町旭294番地2
T E L：01632-7-3927
営業時間：9:00~21:00(20:30最終受付)
休 館 日：年中無休
(施設点検等により休館する場合があります。)
入 浴 料：大人600円/子供250円
宿 泊：1泊2食付7,200円~